

すごい人見っけ!!

他国の絶景・文化を楽しむ

3年ぶりのツーリング

↓今回の相棒のバイク



後ろに広がるのは美しい氷河



この夏休みを利用して8月11日から8月19日までヒマラヤでツーリングをした人がおられる。と聞いて、早速取材。業務員の青木隆男さんに話を聞いた。

インドのデリーでバイクをレンタル、インド北部の町・レーを起点として、そこから標高5000m近くの峠を超えていくツアーだ。このツーリングは、ガイドが先導、後ろにはサポーターカーが走っているのが安心して参加できる。また、バイクの燃料は、道中で給油。サポーターカーにも、燃料が積んであるそうだ。

55歳から始めた ツーリング

青木さんの始めてツーリングは、モンゴル草原で55歳のころだった。

翻訳アプリに助けられる

それから、オーストラリア、ボリビア、アルゼンチンなど多くの国に訪れた。次に行きたい場所を聞くと、モンゴルのゴビ砂漠、ラオスを考えているそうだ。

3年前モンゴルでのツーリングを予定していた。が、新型コロナウィルスの世界的流行で行けなくなってしまう。今回、念願叶ってヒマラヤツーリングに行くことになった。ところが、デリーの空

海外で見る絶景

海外でのツーリングは、日本のように舗装された道が少なく、ほとんどが未舗装道路や山道を走るため大変だが、道中に、見える景色は絶景であり日本では味わえないものである。これは海外ツーリングの醍醐味と言えるだろう。

青木さんは普段の体力強化もかかさない。一週間に一度は60kmのツーリング、日曜日には6kmのジョギングで体を鍛えているそうだ。学校での業務も暑い中、外での作業をこなされ

↓ 頂上にて
13380FT (4.078224km)



食事はカレー
おいしかったよ→



←あちこち
工事中
(北)



滋賀県クライミング大会
2位入賞!! 9/24
三上くん 近畿大会出場

「日本ほど良い国はない」と青木さんは話す。日本で当たり前だと思っていたことが海外からは驚かれるという話は多い。例えば、海外のレストランでは水は頼まなければ出てこない。料金が発生する場合もある。生水は危険、生野菜も食べてはいけない事もある。外から日本を見ると新しい発見があるかもしれない。ツーリングは一度行けばハマるらしい。興味があるならチャレンジしてみたい。文化・料理をぜひ楽しんで欲しい。

外から見る日本の姿

ている。

ハンドボール部

モリタ ハルト
森田陽斗くん(2-1)

- ①16人/月・火・木・金・土曜日に体育館と外のコートで練習。
- ②部員みんなが未経験の初心者チーム。まずは、今までに勝てなかった相手に勝つことが目標。
- ③先輩や後輩など関係なく、みんな平等で対等な関係で接しあっている。とても仲が良く、雰囲気良く部活動に集中して取り組んでいる。
- ④他の人よりもやる気や部活に対しての取り組みに一番頑張ったからだと思う。



山岳部

ミカミ ダイチ
三上大智くん(2-2)

- ①6人/平日は走り込み、天気図を書く。土日のどちらかの午前中に山に登る。月に2、3回クライミング練習(任意)先輩は週4でジムに通ってる。
- ②秋季総体 優秀校 県体トップ3校入りクライミングメンバー全員で近畿大会出場。
- ③たぶん全部活の中で一番仲良し。みんな明るくて活動も厳しいものではないのでフリーの人募集中。
- ④周知の事実。部長でなければならない存在であったから。



野球部

ナゴシ ライリ
名越頼里くん(2-4)



- ①32人/週6日でオフは月曜日。土日は1日練習か試合
- ②初戦突破
- ③明るく元気がある。

運動部編

八工の部長さん

- 【質問項目】
- ①部員数・活動状況
 - ②目標
 - ③雰囲気や特徴など
 - ④選ばれたきっかけ